

基本計画書

基本計画									
事項	記入欄						備考		
計画の区分	研究科の専攻の設置								
フリガナ設置者	カクワホクシン カンセイガクイン 学校法人 関西学院								
フリガナ大学の名称	カセイガクインダクダクガクイン 関西学院大学大学院 (Kwansei Gakuin University Graduate School)								
大学本部の位置	兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号								
大学の目的	<p>関西学院大学大学院は学部における一般的及び専門的教養の基礎の上に、専門の学科を教授研究し、深広な学識と研究能力とさらに進んで研究指導能力を養い、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うとともに、キリスト教主義に基づいて人格を陶冶し、もって文化の進展に寄与することを目的とする。</p> <p>修士課程は、広い視野に立って清深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的とする。</p> <p>博士課程は、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。</p>								
新設学部等の目的	<p>文学研究科は、学部における2003年度の改編をうけて、現在の10専攻を3専攻に改編することにより、学部教育との連携性を高め、その基礎にたつて、専門の学科を教授し、学識と研究能力に加えて研究指導能力を養い、また一方では高度の専門性をもって社会に貢献する人材を生み出すことを目的とする。</p> <p>博士課程前期課程においては、広い視野のもとで専攻分野における研究能力を養うとともに、社会に役立つ高度な専門性を身につけさせる。</p> <p>博士課程後期課程においては、専攻分野における研究を深化させることによって、独立した研究者として研究活動を遂行しうる能力を養成する。</p>								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	関西学院大学大学院 博士課程前期課程 文学研究科 [Graduate School of Humanities]	年	人	年次人	人		年 月 第 年次	兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号	
	文化歴史学専攻 [Graduate Department of Culture and History]	2	22	-	44	修士 (哲学) 修士 (美学) 修士 (芸術学) 修士 (歴史学) 修士 (地理学)	平成19年 4月1日 第1年次		
	総合心理学専攻 [Graduate Department of Integrated Psychological Sciences]	2	20	-	40	修士 (心理学) 修士 (教育心理学) 修士 (教育学) 修士 (学校教育学)	平成19年 4月1日 第1年次	兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号	
	文学言語学専攻 [Graduate Department of Literature and Linguistics]	2	22	-	44	修士 (文学) 修士 (言語学)	平成19年 4月1日 第1年次	兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号	
計		64		128					

新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	基礎となる学部等	
		年	人	年次人	人		年月 第 年次			
新設学部等の概要	関西学院大学大学院 博士課程後期課程 文学研究科 [Graduate School of Humanities]								基礎となる学部等	
	文化歴史学専攻 [Graduate Department of Culture and History]	3	7	-	21	博士 (哲学) 博士 (美学) 博士 (芸術学) 博士 (歴史学) 博士 (地理学)	平成19年4月1日 第1年次	兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号		文学部 文化歴史学科
	総合心理科学専攻 [Graduate Department of Integrated Psychological Sciences]	3	6	-	18	博士 (心理学) 博士 (教育心理学) 博士 (教育学)	平成19年4月1日 第1年次	兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号		文学部 総合心理科学科
	文学言語学専攻 [Graduate Department of Literature and Linguistics]	3	7	-	21	博士 (文学) 博士 (言語学)	平成19年4月1日 第1年次	兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号		文学部 文学言語学科
	計		20		60					
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	<p>文学研究科博士課程前期課程哲学専攻 (△6)、美学専攻 (△6)、心理学専攻 (△6)、教育学専攻 (△6)、日本史学専攻 (△6)、西洋史学専攻 (△6)、日本文学専攻 (△8)、英文学専攻 (△8)、フランス文学専攻 (△6)、ドイツ文学専攻 (△6) の学生募集停止を平成19年4月1日に行い、在学生の卒業を待って廃止する。</p> <p>文学研究科博士課程後期課程哲学専攻 (△2)、美学専攻 (△2)、心理学専攻 (△2)、教育学専攻 (△2)、日本史学専攻 (△2)、西洋史学専攻 (△2)、日本文学専攻 (△2)、英文学専攻 (△2)、フランス文学専攻 (△2)、ドイツ文学専攻 (△2) の学生募集停止を平成19年4月1日に行い、在学生の卒業を待って廃止する。</p>									
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数				
		講義	演習	実習	計					
	関西学院大学大学院 博士課程前期課程 文学研究科									
	文化歴史学専攻	22 科目	6 科目	0 科目	28 科目	32 単位				
	総合心理科学専攻	18 科目	4 科目	3 科目	25 科目	32 単位				
	文学言語学専攻	29 科目	10 科目	0 科目	39 科目	32 単位				
	関西学院大学大学院 博士課程後期課程 文学研究科									
文化歴史学専攻	0 科目	2 科目	0 科目	2 科目	12 単位					
総合心理科学専攻	0 科目	2 科目	0 科目	2 科目	12 単位					
文学言語学専攻	0 科目	2 科目	0 科目	2 科目	12 単位					

教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員	既存研究科から 移籍した教員数は、 様式第2号 (その1) P.8欄 外に記載している。	
			教授	准教授	講師	助教	計			助手
新設	関西学院大学大学院 博士課程前期課程 文学研究科 文化歴史学専攻		人	人	人	人	人	人	人	
			25 (25)	2 (2)	— (—)	— (—)	27 (27)	— (—)	29 (29)	
	総合心理学専攻		15 (15)	3 (3)	— (—)	— (—)	18 (18)	— (—)	26 (26)	
	文学言語学専攻		24 (24)	5 (5)	— (—)	— (—)	29 (29)	— (—)	21 (21)	
	計		64 (64)	10 (10)	0 (0)	0 (0)	74 (74)	0 (0)	76 (76)	
	関西学院大学大学院 博士課程後期課程 文学研究科 文化歴史学専攻		人	人	人	人	人	人	人	
			25 (25)	3 (3)	— (—)	— (—)	28 (28)	— (—)	— (—)	
	総合心理学専攻		10 (12)	2 (2)	— (—)	— (—)	12 (14)	— (—)	— (—)	
	文学言語学専攻		23 (24)	5 (5)	1 (1)	— (—)	29 (30)	— (—)	— (—)	
	計		58 (61)	10 (10)	1 (1)	0 (0)	69 (72)	0 (0)	0 (0)	
既設	学部等の名称		専任教員等					兼任教員		
	教授	准教授	講師	助教	計	助手				
	関西学院大学大学院 博士課程前期課程		人	人	人	人	人	人		人
	神学研究科	神学専攻	6 (6)	4 (4)	1 (1)	— (—)	11 (11)	— (—)		1 (1)
		社会学研究科	社会学専攻	20 (20)	2 (2)	— (—)	— (—)	22 (22)		— (—)
	社会福祉学専攻		6 (6)	— (—)	— (—)	— (—)	6 (6)	— (—)		19 (19)
	法学研究科	法学・政治学専攻	29 (29)	3 (3)	— (—)	— (—)	32 (32)	— (—)		26 (26)
	経済学研究科	経済学専攻	28 (28)	5 (5)	— (—)	— (—)	33 (33)	— (—)		10 (10)
	商学研究科	商学専攻	22 (22)	8 (8)	— (—)	— (—)	30 (30)	— (—)		12 (12)
	理工学研究科	物理学専攻	14 (14)	4 (4)	— (—)	— (—)	18 (18)	— (—)		8 (8)
		化学専攻	8 (8)	2 (2)	2 (2)	— (—)	12 (12)	— (—)		9 (9)
		生命科学専攻	6 (6)	2 (2)	— (—)	— (—)	8 (8)	— (—)		5 (5)
		情報科学専攻	14 (14)	3 (3)	— (—)	— (—)	17 (17)	— (—)		7 (7)
	総合政策研究科	総合政策専攻	36 (36)	7 (7)	— (—)	— (—)	43 (43)	— (—)		3 (3)
	言語コミュニケーション文化研究科	言語コミュニケーション文化専攻	21 (21)	11 (11)	— (—)	— (—)	32 (32)	— (—)		11 (11)
	計		210 (210)	51 (51)	3 (3)	0 (0)	264 (264)	0 (0)		136 (136)
	博士課程前期課程 合計		274 (274)	61 (61)	3 (3)	0 (0)	338 (338)	0 (0)		212 (212)

教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員		
			教授	准教授	講師	助教	計		助手	
教員組織の概要	既設	関西学院大学大学院 博士課程後期課程		人	人	人	人	人	人	
		神学研究科	神学専攻	6 (6)	4 (4)	1 (1)	- (-)	11 (11)	- (-)	- (-)
	既設	社会学研究科	社会学専攻	20 (20)	2 (2)	- (-)	- (-)	22 (22)	- (-)	17 (17)
			社会福祉学専攻	6 (6)	- (-)	- (-)	- (-)	6 (6)	- (-)	16 (16)
	既設	法学研究科	政治学専攻	13 (13)	3 (3)	- (-)	- (-)	16 (16)	- (-)	1 (1)
			基礎法学専攻	7 (7)	- (-)	- (-)	- (-)	7 (7)	- (-)	2 (2)
			民刑事法学専攻	16 (16)	- (-)	- (-)	- (-)	16 (16)	- (-)	4 (4)
	既設	経済学研究科	経済学専攻	28 (28)	5 (5)	- (-)	- (-)	33 (33)	- (-)	1 (1)
			商学研究科	22 (22)	8 (8)	- (-)	- (-)	30 (30)	- (-)	2 (2)
	既設	理工学研究科	物理学専攻	14 (14)	4 (4)	- (-)	- (-)	18 (18)	- (-)	- (-)
			化学専攻	8 (8)	2 (2)	2 (2)	- (-)	12 (12)	- (-)	- (-)
			生命科学専攻	6 (6)	2 (2)	- (-)	- (-)	8 (8)	- (-)	- (-)
			情報科学専攻	14 (14)	3 (3)	- (-)	- (-)	17 (17)	- (-)	- (-)
	既設	総合政策研究科	総合政策専攻	36 (36)	7 (7)	- (-)	- (-)	43 (43)	- (-)	- (-)
	既設	言語コミュニケーション文化研究科	言語コミュニケーション文化専攻	21 (21)	11 (11)	- (-)	- (-)	32 (32)	- (-)	- (-)
			計	217 (217)	51 (51)	3 (3)	0 (0)	271 (271)	0 (0)	43 (43)
	博士課程後期課程 合計			275 (278)	61 (61)	4 (4)	0 (0)	340 (343)	0 (0)	43 (43)
	教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員	
				教授	准教授	講師	助教	計		助手
	教員組織の概要	既設	関西学院大学大学院 専門職学位課程		人	人	人	人	人	人
司法研究科			法務専攻	30 (30)	3 (3)	- (-)	- (-)	33 (33)	- (-)	22 (22)
既設		経営戦略研究科	経営戦略専攻	14 (14)	5 (5)	3 (3)	- (-)	22 (22)	- (-)	14 (14)
			会計専門職専攻	17 (17)	5 (5)	- (-)	- (-)	22 (22)	- (-)	10 (10)
専門職学位課程 合計			61 (61)	13 (13)	3 (3)	0 (0)	77 (77)	0 (0)	46 (46)	

教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計				
	事 務 職 員		298 人 (298)	230 人 (230)	528 人 (528)				
	技 術 職 員		11 (11)	— (—)	11 (11)				
	図 書 館 専 門 職 員		31 (31)	12 (12)	43 (43)				
	そ の 他 の 職 員		11 (12)	18 (18)	29 (30)				
	計		351 (352)	260 (260)	611 (612)				
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	233,399 m ²	— m ²	— m ²	233,399 m ²	【借用地】 貸与者：神戸市水道局 借用期間：永年 借用面積：484m ² 貸与者：阪神水道企業団 借用期間：3年（継続更新） 借用面積：562m ² 貸与者：阪神水道企業団 借用期間：3年（継続更新） 借用面積：204m ² 貸与者：富山県 借用期間：3年（継続更新） 借用面積：1185m ² 貸与者：新西宮ヨットハーバー 借用期間：5年（継続更新） 借用面積：185m ² 【共用】 関西学院高等部（900名） 関西学院中学部（540名）			
	運 動 場 用 地	299,433 m ²	— m ²	— m ²	299,433 m ²				
	小 計	532,832 m ²	— m ²	— m ²	532,832 m ²				
	そ の 他	15,652 m ²	990,415 m ²	— m ²	1,006,067 m ²				
	合 計	548,484 m ²	990,415 m ²	— m ²	1,538,899 m ²				
校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
	182,581 m ² (182,581 m ²)	— m ² (— m ²)	— m ² (— m ²)	182,581 m ² (182,581 m ²)					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)				
専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
		()	()	()	()	()	()		
	計	()	()	()	()	()	()		
図書館	面積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数					
	m ²								
体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	m ²								
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コスト含む）を含む。 共同研究費等は大学全体で算出。
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	1,030千円	1,030千円	図書購入費	19,675千円	22,895千円	22,892千円	
		共 同 研 究 費 等	133,799千円	133,799千円	設備購入費	18,468千円	4,531千円	4,531千円	
	学生 1 人 当 り 納 付 金 (前期課程)	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		898 千円	668 千円	千円	千円	千円	千円		
	学生 1 人 当 り 納 付 金 (後期課程)	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
898 千円		668 千円	668 千円	千円	千円	千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			手数料収入、寄付金収入、補助金収入、資産運用収入、資産売却収入を充当する。						

大 学 の 名 称		関 西 学 院 大 学							所 在 地
学 部 等 の 名 称	修 業 年 限	入 学 定 員	入 学 定 員 年 次	取 容 定 員	学 位 又 は 称 号	定 員 開 設 率	開 年 度	設 度	
神学部	4	30	—	110	学 士 (神 学)	0.98	昭和27年	兵庫県西宮市 上ヶ原一番町 1番155号	H16.4大学全体の 収容定員増
文学部								同上	
文化歴史学科	4	275	—	1,053	学 士 (文 学)	1.04	平成15年		
総合心理科学科	4	175	—	675	学 士 (文 学)	1.01	平成15年		
文学言語学科	4	320	—	1,225	学 士 (文 学)	1.10	平成15年		
社会学部								同上	
社会学科	4	475	—	1,805	学 士 (社 会 学)	1.03	昭和35年		
社会福祉学科	4	175	10	685	学 士 (社 会 福 祉 学)	1.04	平成11年		
法学部								同上	
法律学科	4	510	—	1,960	学 士 (法 学)	1.06	昭和23年		
政治学科	4	140	—	540	学 士 (法 学)	1.03	昭和23年		
経済学部	4	650	—	2,538	学 士 (経 済 学)	1.07	昭和23年	同上	
商学部	4	650	—	2,510	学 士 (商 学)	1.04	昭和26年	同上	
理工学部									兵庫県三田市 学園2丁目1番 地
物理学科						0.98	昭和36年		
物理学専攻	4	75	—	285	学 士 (理 学)				
数学専攻	4	35	—	131	学 士 (理 学)				
化学科	4	75	—	285	学 士 (理 学)	0.92	昭和36年		
生命科学科	4	50	—	190	学 士 (生 命 科 学)	0.98	平成14年		
情報科学科	4	125	—	475	学 士 (情 報 科 学)	0.94	平成14年		
総合政策学部								同上	
総合政策学科	4	360	50	1,480	学 士 (総 合 政 策)	1.05	平成7年		
メディア情報学科	4	120	—	460	学 士 (メ デ ィ ア 情 報)	1.09	平成14年		
博士課程 前期課程									兵庫県西宮市 上ヶ原一番町 1番155号
神学研究科 神学専攻	2	10	—	20	修 士 (神 学)	1.40	昭和27年		
文学研究科 哲学専攻	2	6	—	12	修 士 (哲 学)	0.41	昭和25年	同上	
美学専攻	2	6	—	12	修 士 (美 学)	1.08	昭和29年		
					修 士 (芸 術 学)				
心理学専攻	2	6	—	12	修 士 (心 理 学)	1.49	昭和25年		
教育学専攻	2	6	—	12	修 士 (教 育 学)	1.91	昭和27年		
					修 士 (教 育 心 理 学)				
					修 士 (学 校 教 育 学)				
日本史学専攻	2	6	—	12	修 士 (歴 史 学)	1.08	昭和36年		
西洋史学専攻	2	6	—	12	修 士 (歴 史 学)	0.83	昭和29年		
					修 士 (地 理 学)				
日本文学専攻	2	8	—	16	修 士 (文 学)	0.81	昭和26年		
					修 士 (言 語 学)				
英文学専攻	2	8	—	16	修 士 (文 学)	0.50	昭和25年		
					修 士 (言 語 学)				
フランス文学専攻	2	6	—	12	修 士 (文 学)	0.99	昭和42年		
					修 士 (言 語 学)				
ドイツ文学専攻	2	6	—	12	修 士 (文 学)	0.41	昭和38年		
					修 士 (言 語 学)				
社会学研究科 社会学専攻	2	12	—	24	修 士 (社 会 学)	0.58	昭和36年	同上	
社会学研究科 社会福祉学専攻	2	6	—	12	修 士 (社 会 福 祉 学)	1.16	昭和36年		
法学研究科 法学・政治学専攻	2	45	—	90	修 士 (法 学)	0.47	平成16年	同上	
経済学研究科 経済学専攻	2	30	—	60	修 士 (経 済 学)	0.53	昭和25年	同上	

大 学 の 名 称		関 西 学 院 大 学									
学 部 等 の 名 称	修 業 年 限	入 学 定 員	入 学 定 員	入 学 定 員	入 学 定 員	入 学 定 員	学 位 又 は 称 号	定 員 過 倍 率	開 設 年 度	所 在 地	
商学研究科 商学専攻	2	30	—	60	修 士 (商 学) 修 士 (経 営 学) 修 士 (会 計 学) 修 士 (マーケティング) 修 士 (ファイナンス) 修 士 (ビジネス情報) 修 士 (国際ビジネス)	0.66	昭和28年	兵庫県西宮市 上ヶ原一番町 1番155号	H17.4収容定員減		
理工学研究科 物理学専攻	2	25	—	38	修 士 (理 学)	1.60	昭和40年	兵庫県三田市 学園2丁目1番 地	H18.4収容定員 増		
化学専攻	2	33	—	53	修 士 (理 学)	1.20	昭和40年				
生命科学専攻	2	20	—	30	修 士 (理 学)	1.05	平成16年				
情報科学専攻	2	45	—	45	修 士 (工 学) 修 士 (理 学) 修 士 (工 学)	1.66	平成18年			H18.4専攻設置	
総合政策研究科 総合政策専攻	2	50	—	100	修 士 (総 合 政 策) 修 士 (メディア情報) 修 士 (国際開発戦略)	0.46	平成11年	同上			
言語コミュニケーション文化研究科 言語コミュニケーション文化専攻	2	30	—	60	修 士 (言 語 科 学) 修 士 (言 語 文 化 学) 修 士 (言 語 教 育 学)	0.69	平成13年	兵庫県西宮市 上ヶ原一番町 1番155号			
既設 大 学 等 の 状 況	博士課程 後期課程							同上			
神学研究科 神学専攻	3	2	—	6	博 士 (神 学)	1.16	昭和29年	同上			
文学研究科 哲学専攻	3	2	—	6	博 士 (哲 学)	0.66	昭和29年				
美学専攻	3	2	—	6	博 士 (美 学)	2.16	昭和36年				
心理学専攻	3	2	—	6	博 士 (芸 術 学) 博 士 (心 理 学)	1.83	昭和29年				
教育学専攻	3	2	—	6	博 士 (教 育 学) 博 士 (教 育 心 理 学)	0.83	昭和36年				
日本史学専攻	3	2	—	6	博 士 (歴 史 学)	2.33	昭和38年				
西洋史学専攻	3	2	—	6	博 士 (歴 史 学) 博 士 (地 理 学)	1.00	昭和31年				
日本文学専攻	3	2	—	6	博 士 (文 学) 博 士 (言 語 学)	1.83	昭和29年				
英文学専攻	3	2	—	6	博 士 (文 学) 博 士 (言 語 学)	1.16	昭和29年				
フランス文学専攻	3	2	—	6	博 士 (文 学) 博 士 (言 語 学)	0.50	昭和42年				
ドイツ文学専攻	3	2	—	6	博 士 (文 学) 博 士 (言 語 学)	0.50	昭和38年				
社会学研究科 社会学専攻	3	4	—	10	博 士 (社 会 学)	1.50	昭和36年				
社会福祉学専攻	3	4	—	10	博 士 (社 会 福 祉 学)	2.33	昭和53年	同上	H17.4収容定員 増		
法学研究科 政治学専攻	3	2	—	6	博 士 (法 学)	0.66	昭和34年	同上			
基礎法学専攻	3	2	—	6	博 士 (法 学)	0.00	昭和29年				
民刑事法学専攻	3	2	—	6	博 士 (法 学)	0.66	昭和38年				
経済学研究科 経済学専攻	3	3	—	9	博 士 (経 済 学)	1.22	昭和29年	同上			
商学研究科 商学専攻	3	10	—	23	博 士 (商 学)	0.17	昭和36年	同上	H17.4収容定員増		
理工学研究科 物理学専攻	3	5	—	15	博 士 (理 学)	0.33	昭和42年	兵庫県三田市 学園2丁目1番 地	H18.4収容定員増 H18.4課程設置		
化学専攻	3	6	—	16	博 士 (理 学)	0.97	昭和42年				
生命科学専攻	3	5	—	5	博 士 (理 学) 博 士 (工 学)	0.20	平成18年				
情報科学専攻	3	3	—	3	博 士 (理 学) 博 士 (工 学)	1.00	平成18年			H18.4専攻設置	
総合政策研究科 総合政策専攻	3	5	—	15	博 士 (総 合 政 策)	0.66	平成13年	同上			
言語コミュニケーション文化研究科 言語コミュニケーション文化専攻	3	3	—	9	博 士 (言 語 コミュニケーショ ン文化)	1.44	平成15年	兵庫県西宮市 上ヶ原一番町 1番155号			

既設大学等の状況	大学の名称	関西学院大学							所在地
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入定員	取容量	学位又は称号	定員過率	開設年度	
	専門職学位課程	年	人	人	人		倍		
	司法研究科 法務専攻	3	125	—	375	法務博士（専門職）	1.05	平成16年	兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号
	経営戦略研究科 経営戦略専攻	2	100	—	200	経営管理修士（専門職）	0.69	平成17年	大阪府大阪市北区茶屋町19番19号7F ロース77-14階
	会計専門職専攻	2	100	—	200	会計修士（専門職）	0.79	平成17年	兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号
	附属施設の概要	該当無し							

既存研究科から移籍した教員数について

文学研究科 博士課程前期課程

文化歴史学専攻

文学研究科哲学専攻（M）から 5（うち教授 4）人移籍
 文学研究科美学専攻（M）から 5（うち教授 5）人移籍
 文学研究科日本史学専攻（M）から 8（うち教授 8）人移籍
 文学研究科西洋史学専攻（M）から 8（うち教授 7）人移籍

総合心理学専攻

文学研究科心理学専攻（M）から 7（うち教授 6）人移籍
 文学研究科教育学専攻（M）から 11（うち教授 9）人移籍

文学言語学専攻

文学研究科日本文学専攻（M）から 6（うち教授 5）人移籍
 文学研究科英文学専攻（M）から 12（うち教授 9）人移籍
 文学研究科フランス文学専攻（M）から 5（うち教授 5）人移籍
 文学研究科ドイツ文学専攻（M）から 6（うち教授 5）人移籍

文学研究科 博士課程後期課程

文化歴史学専攻

文学研究科哲学専攻（D）から 5（うち教授 4）人移籍
 文学研究科美学専攻（D）から 5（うち教授 5）人移籍
 文学研究科日本史学専攻（D）から 9（うち教授 8）人移籍
 文学研究科西洋史学専攻（D）から 8（うち教授 7）人移籍

総合心理学専攻

文学研究科心理学専攻（D）から 7（うち教授 6）人移籍
 文学研究科教育学専攻（D）から 7（うち教授 6）人移籍

文学言語学専攻

文学研究科日本文学専攻（D）から 7（うち教授 5）人移籍
 文学研究科英文学専攻（D）から 12（うち教授 9）人移籍
 文学研究科フランス文学専攻（D）から 5（うち教授 5）人移籍
 文学研究科ドイツ文学専攻（D）から 6（うち教授 5）人移籍

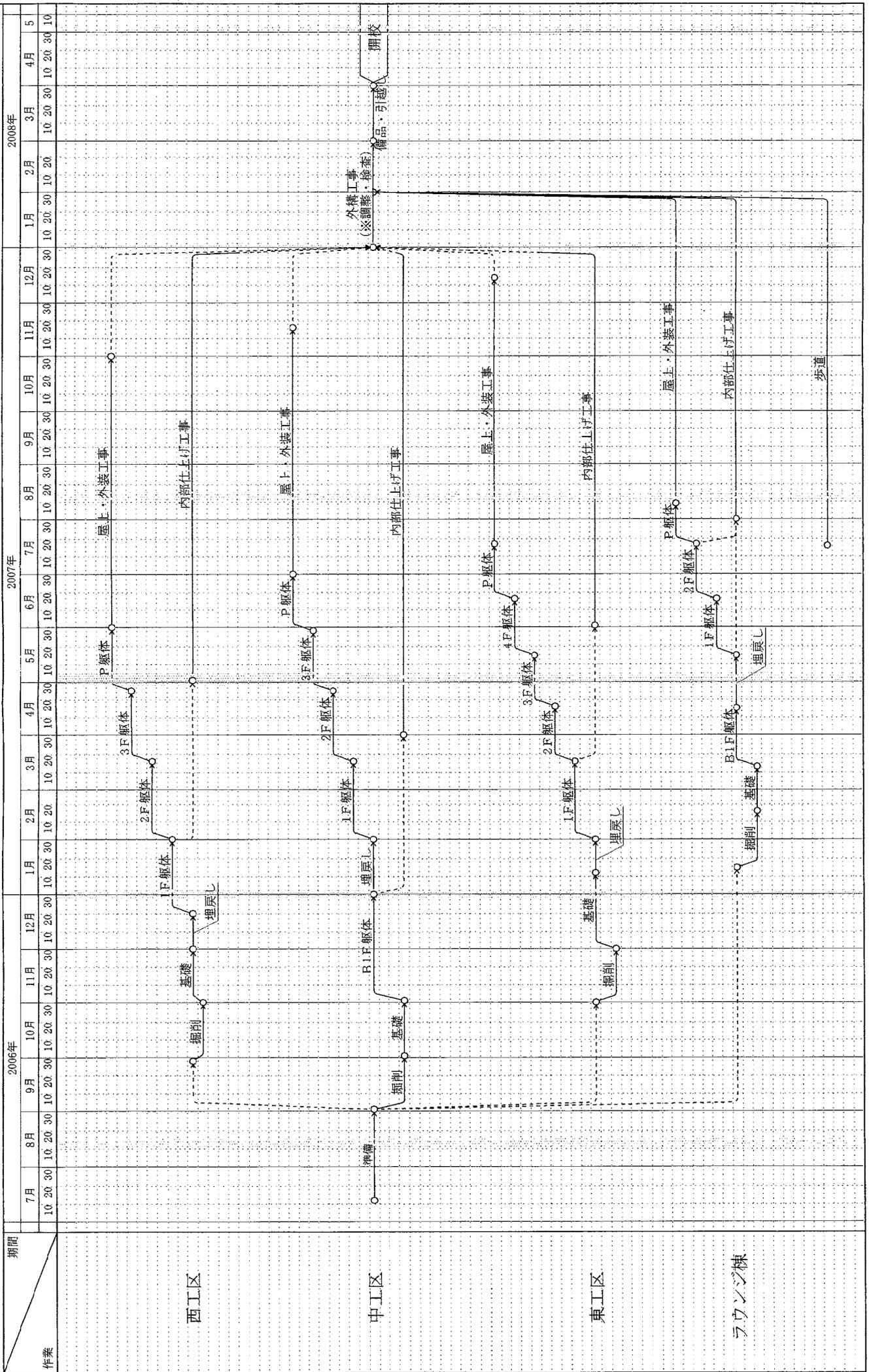
学校法人関西学院第3フィールド諸施設整備計画 工程表

(西宮上ヶ原キャンパス)

期間	2006年												2007年					
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
作業																		
西宮市 許認可	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>48条 32条</p> <p>29条 宅造 風致 24条</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: right;"> <p>馬場・厩舎・倉庫 供用開始</p> </div> </div>																	
兵庫県	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>調整池 森林法</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: right;"> <p>付帯施設</p> </div> </div>																	
近隣 (福祉会、農会、奉賛会他)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>説明会 向意</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: right;"> <p>スタンド等</p> </div> </div>																	
土木工事	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>造成 野球場 アメリカンフットボール場 馬場 緑化</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: right;"> <p>倉庫 厩舎</p> </div> </div>																	
建築工事	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>建築確認申請</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: right;"> <p>建築完了検査</p> </div> </div>																	
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>開発申請許可</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: right;"> <p>開発完了検査</p> </div> </div>																	

関西学院 第1フェイルド跡地計画

(2006年 4月 17日作成)



様式第2号(その2)

教育課程等の概要														
(文学研究科文化歴史学専攻博士課程前期課程)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
特殊講義科目	哲学特殊講義	1・2		2		○			1					
	倫理学特殊講義	1・2		2		○			2					
	哲学史特殊講義	1・2		2		○								
	宗教哲学特殊講義	1・2		2		○								
	美学特殊講義	1・2		2		○								
	芸術史特殊講義	1・2		2		○								
	芸術学特殊講義	1・2		2		○			1					
	地理学特殊講義	1・2		2		○								
	地域研究特殊講義	1・2		2		○				1				
	地域文化学特殊講義	1・2		2		○								
	日本史学特殊講義	1・2		2		○								
	日本考古学特殊講義	1・2		2		○								
	日本古文書学	1・2		2		○								
	アジア史学特殊講義	1・2		2		○			1					
	西洋史学特殊講義	1・2		2		○								
	西洋考古学特殊講義	1・2		2		○								
小計(16科目)		—	0	32	0	—			4	1	0	0	0	
研究科目	哲学文献研究	1・2		2		○				1				
	芸術学資料研究	1・2		2		○								
	地理学地域文化学資料研究	1・2		2		○								
	日本史学文献研究	1・2		2		○			2					
	アジア史学文献研究	1・2		2		○								
	西洋史学文献研究	1・2		2		○								
小計(6科目)		—	0	12	0	—		2	1	0	0	0		
演習科目	哲学研究演習	1・2	2				○		4	1				
	美学芸術学研究演習	1・2	2				○		5					
	地理学地域文化学研究演習	1・2	2				○		3	1				
	日本史学研究演習	1・2	2				○		4					
	アジア史学研究演習	1・2	2				○		4					
	西洋史学研究演習	1・2	2				○		5					
小計(6科目)		—	12	0	0	—		25	2	0	0	0		
合計(28科目)		—	12	44	0	—		25	2	0	0	0		
学位又は称号	修士(哲学)、修士(美学)、 修士(芸術学)、修士(歴史学)、 修士(地理学)		学位又は学科の分野				文学関係							
卒業要件及び履修方法							授業期間等							
履修については、指導教員の指導のもと履修科目を決める。 修了要件は、特殊講義科目、研究科目から24単位以上、演習科目から8単位以上を修得し、修士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。							1学年の学期区分			2学期				
							1学期の授業期間			15週				
							1時限の授業時間			90分				

様式第2号（その2）

教育課程等の概要														
(文学研究科総合心理科学専攻博士課程前期課程)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
特殊講義科目	心理学特殊講義	1・2		2		○								
	社会心理学特殊講義	1・2		2		○								
	教育心理学特殊講義	1・2		2		○			1					
	心理臨床学特殊講義	1・2		2		○			1					
	臨床教育学特殊講義	1・2		2		○			1					
	教育史特殊講義	1・2		2		○								
	教育社会学特殊講義	1・2		2		○			1					
	教育哲学特殊講義	1・2		2		○			1					
	学校教育学特殊講義	1・2		2		○								
	実践教育学特殊講義	1・2		2		○				1				
	統計基礎理論	1・2		2		○								
	行動科学研究法A	1・2		2		○			1					
	行動科学研究法B	1・2		2		○								
	行動科学研究法C	1・2		2		○								
	行動科学研究法D	1・2		2		○								
	行動科学研究法E	1・2		2		○								
小計（16科目）		—	0	32	0			—	6	1	0	0	0	
実験実習科目	心理学実験研究	1・2		2				○	6	1				
	教育心理学臨床研究	1・2		2				○						
	心理臨床学臨床研究	1・2		2				○		1				
小計（3科目）		—	0	6	0			—	6	2	0	0	0	
研究科目	心理学特殊研究	1・2		2		○								
	心理学臨床研究	1・2		2		○			1					
小計（2科目）		—	0	4	0			—	1	0	0	0	0	
演習科目	心理学研究演習	1・2	2				○		6	1				
	教育心理学研究演習	1・2	2				○		3	1				
	臨床教育学研究演習	1・2	2				○		3					
	学校教育学研究演習	1・2	2				○		3	1				
小計（4科目）		—	8	0	0			—	15	3	0	0	0	
合計（25科目）		—	8	42	0			—	15	3	0	0	0	
学位又は称号	修士(心理学)、修士(教育心理学)、修士(教育学)、修士(学校教育学)			学位又は学科の分野				文学関係、教育学・保育学関係						
卒業要件及び履修方法							授業期間等							
履修については、指導教員の指導のもと履修科目を決める。 修了要件は、特殊講義科目、実験実習科目、研究科目から24単位以上、演習科目から8単位以上を修得し、修士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。							1 学年の学期区分			2 学期				
							1 学期の授業期間			1 5 週				
							1 時限の授業時間			9 0 分				

様式第2号 (その2)

教育課程等の概要														
(文学研究科文学言語学専攻博士課程前期課程)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
特殊講義科目	日本文学特殊講義	1・2		2		○			2					
	中国文学特殊講義	1・2		2		○								
	日本語学特殊講義	1・2		2		○								
	イギリス文学特殊講義	1・2		2		○			2					
	アメリカ文学特殊講義	1・2		2		○				2				
	比較文学特殊講義	1・2		2		○								
	英語学特殊講義	1・2		2		○			1					
	言語学特殊講義	1・2		2		○			1					
	フランス文学特殊講義	1・2		2		○			1					
	フランス文学史特殊講義	1・2		2		○			1					
	フランス語学特殊講義	1・2		2		○			1					
	ドイツ文学特殊講義	1・2		2		○			3					
	ドイツ文学史特殊講義	1・2		2		○			2					
	ドイツ文化特殊講義	1・2		2		○								
	ドイツ語学特殊講義	1・2		2		○			2					
	Research Methods&Writing	1・2		2		○								
	ギリシア語A	1・2			2	○								
	ギリシア語B	1・2			2	○								
	ラテン語A I	1・2			2	○								
	ラテン語B I	1・2			2	○								
	ラテン語A II	1・2			2	○								
	ラテン語B II	1・2			2	○								
小計 (22科目)		—	0	32	12	—			14	2	0	0	0	
研究科目	日本文学文献研究	1・2		2		○								
	日本語学文献研究	1・2		2		○			1					
	イギリス文学文献研究	1・2		2		○			2					
	アメリカ文学文献研究	1・2		2		○				2				
	英語学文献研究	1・2		2		○			1	1				
	フランス文学文献研究	1・2		2		○								
	ドイツ文学文献研究	1・2		2		○					1			
小計 (7科目)		—	0	14	0	—			4	4	0	0	0	
演習科目	日本文学研究演習	1・2	2				○		3	1				
	日本語学研究演習	1・2	2				○		1					
	イギリス文学研究演習	1・2	2				○		4					
	アメリカ文学研究演習	1・2	2				○		2					
	英語学研究演習	1・2	2				○		2					
	フランス文学研究演習	1・2	2				○		2					
	フランス語学研究演習	1・2	2				○		2					
	ドイツ文学研究演習	1・2	2				○		3					
	ドイツ語学研究演習	1・2	2				○		1					
	言語科学研究演習	1・2	2				○		4					
小計 (10科目)		—	20	0	0	—			24	1	0	0	0	
合計 (39科目)		—	20	46	12	—			24	5	0	0	0	
学位又は称号	修士(文学)、修士(言語学)	学位又は学科の分野			文学関係									
卒業要件及び履修方法						授業期間等								
履修については、指導教員の指導のもと履修科目を決める。 修了要件は、特殊講義科目、研究科目から24単位以上、演習科目から8単位以上を修得し、修士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。						1 学年の学期区分				2 学期				
						1 学期の授業期間				1 5 週				
						1 時限の授業時間				9 0 分				

様式第2号（その2）

教 育 課 程 等 の 概 要														
(文学研究科総合心理学専攻博士課程後期課程)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
演習科目	研究演習	1・2・3	2				○		11	1				
	博士論文作成演習	2・3	2				○		11	1				
	特別研究（研究指導）	1・2・3	—	—	—	—	○	—	12	2				
	小計（2科目）	—	4	0	0	—	—	—	12	2	0	0	0	
	小計（科目）	—				—	—	—						
	小計（科目）	—				—	—	—						
	小計（科目）	—				—	—	—						
合計（2科目）			—	4	0	0	—	—	12	2	0	0	0	
学位又は称号	博士(心理学)、博士(教育心理学)、博士(教育学)		学位又は学科の分野				文学関係、教育学・保育学関係							
卒業要件及び履修方法							授業期間等							
指導教員の指導のもと履修科目を決め、研究演習、博士論文作成演習から12単位以上を修得し、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。							1学年の学期区分				2学期			
							1学期の授業期間				15週			
							1時限の授業時間				90分			

様式第2号（その2）

教 育 課 程 等 の 概 要														
(文学研究科文学言語学専攻博士課程後期課程)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
演習科目	研究演習	1・2・3	2				○		23					
	博士論文作成演習	2・3	2				○		23					
	特別研究（研究指導）	1・2・3	—	—	—	—	○	—	24	5	1			
	小計（2科目）	—	4	0	0	—	—	—	24	5	1	0	0	
	小計（科目）	—					—							
	小計（科目）	—					—							
	小計（科目）	—					—							
合計（2科目）			—	4	0	0	—	—	24	5	1	0	0	
学位又は称号	博士(文学)、博士(言語学)		学位又は学科の分野				文学関係							
卒業要件及び履修方法							授業期間等							
指導教員の指導のもと履修科目を決め、研究演習、博士論文作成演習から12単位以上を修得し、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。							1学年の学期区分				2学期			
							1学期の授業期間				15週			
							1時限の授業時間				90分			

授 業 科 目 の 概 要			
(文学研究科文化歴史学専攻博士課程前期課程)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特殊講義科目	哲学特殊講義	認識論、存在論、形而上学など、哲学の基礎的な領域における諸問題を、過去の主要な哲学者たちの諸説を紹介しながら考察するとともに、必要に応じて、現代の哲学者たちの関心を引いている先端的なテーマにも言及することで、哲学的思索の持つ意味を、その深さと広がりの中で明らかにする。	
	倫理学特殊講義	倫理学における過去の学説や現在の研究状況を紹介しながら、道徳、意志、自由、価値、理性など、倫理学に関わる基礎的な諸問題について歴史的及び体系的に論じることで、倫理学に対する受講者の理解を深めるとともに、今後目指すべき方向性を提示する。	
	哲学史特殊講義	西洋哲学史、とくに近代のドイツ、フランス、イギリス、アメリカの哲学史を中心に講義する。必要に応じて古代や中世、あるいは非西欧地域の哲学にも言及し、また、哲学史における最新の研究状況を紹介することによって、今後目指すべき方向性を提示する。	
	宗教哲学特殊講義	世界の宗教、とくにキリスト教を対象に、その哲学的基盤や社会との関わり、文化的影響力などについて、歴史的及び体系的に考察するとともに、非西欧の文化圏、特に日本における宗教の哲学的背景についても言及することで、現代の我々にとって宗教が持つ意味を明らかにする。	
	美学特殊講義	美学史における基礎的・古典的テキストの読解を行うとともに、美の本質、基準、価値といった概念を問い、さらに個別の美的経験・芸術領域・芸術と他の人間活動との関係を追及して、美や芸術をめぐるさまざまな言説を批判的に検証する美学の研究法を教授する。	
	芸術史特殊講義	美術、工芸、演劇、映像、音楽などの諸芸術の歴史的な展開に重点を置き、各時代・時期における芸術の形式や芸術に対する価値観を論じ、芸術活動の本質とその諸形態に関する思想を考察する。また、芸術学自体の歴史的変遷を美術史、音楽史、演劇史などとの関連のなかで考察し、芸術の歴史に対する理解を深める。	
	芸術学特殊講義	地理的・時間的に隔たった人間の多様な芸術表現について研究し、芸術を創造した人間に対する洞察を深めるとともに、芸術学を存立させてきた諸理論を体系的に講義して、芸術の諸相についての幅広い知識を教授し、さらに最新の研究状況を紹介して今後目指すべき方向性を提示する。	
	地理学特殊講義	地域、環境、景観、空間、場所などの概念を手がかりに、人間の営為を検討を加えようとする人文地理学の広範な領域のなかで、系統地理学の関心のもとに、とりわけ地理学史や地理学方法論に関わる諸問題について、近年の欧米における議論の展開と日本における理論的検討の深化を踏まえながら、いくつかの主題を選んで講義を行う。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特殊講義科目	地域研究特殊講義	地域研究は、例えば東南アジア、カリブ海地域、中東、地中海地域など、世界の諸地域の研究を目的とし、生態学、人口学を始め、地理学、歴史学、人類学、社会学など、多様でグローバルな視点を踏まえた総合的なアプローチをとることにより成立する学問分野である。本科目では具体的な地域を取り上げ、従来の研究成果に批判的検討を加えつつ講義を進めてゆく。	
	地域文化学特殊講義	長く世代を越えて伝えられ深く地域に根ざす伝統文化や、住民の主體的な客体化の営みにより新たに創り出されてゆくローカルな文化などを対象とした、いわゆる地域文化に関わる諸問題を、広い視野のもとに考察するため、文化地理学、文化人類学、民俗学などの諸学における研究の最前線から、時宜に応じた主題を選択して講義を行う。	
	日本史学特殊講義	日本の古代史・中世史・近世史及び明治大正期における諸問題を対象に、講義を行う。特に現在の研究状況を整理し、新たな研究展開の方向性を見出すことに力点を置き、文献史料のみならず近年の新出史料や出土した考古学的資料に分析を加えることで、研究者としての資質を向上させる。	
	日本考古学特殊講義	日本における考古学の発展と展開過程を整理するなかで、考古学的資料の果たすべき役割を明らかにする。出土文物のみならず木簡・竹簡などの文字資料をも対象に含め、特に近年新たに出土した資料に力点を置き、これらの資料群に分析を加えることで、研究者としての資質を向上させる。現地視察を積極的に取り入れる。	
	日本古文書学	古文書資料、特に個人の記録類を中心に、書き手の社会的位置づけや状況を加味することで、文献としての読解のみならず、史料から説き起こす歴史学的手法にまで言及していく。	
	アジア史学特殊講義	中国の古代史・中世史・近世史における歴史的変遷に関わる諸問題、または西アジア史の諸課題を対象に、講義を行う。特に現在の研究状況を整理し、新たな研究展開の方向性を見出すことに力点を置き、文献史料のみならず近年出土した考古学的資料に分析を加えることで、研究者としての資質を向上させる。	
	西洋史学特殊講義	ヨーロッパ、アメリカ、ならびに西洋文明が影響を与えた地域における歴史学の諸問題のなかから具体的な事例を選び、最近の歴史学理論及び方法論についての研究動向を踏まえつつ、グローバルな視野をもって対象を捉える。	
	西洋考古学特殊講義	西洋考古学では、まず古典考古学の対象分野として建築、彫刻、絵画を中心に置き、ギリシア古代の建造物と政治状況を理解し、さらに古代ギリシアの彫刻と絵画の特殊性を理解することを基本とする。他方では、ヨーロッパ、アメリカ、ならびに西洋文明が影響を与えた地域において、考古学的方法が有効となる諸課題を確認する。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究科目	哲学文献研究	ドイツ、フランス、イギリス、アメリカなど、欧米の哲学史上の主要著作や、それに関連する学術論文の分析と読解を通して、哲学史上のさまざまな根本問題へのアプローチを試みるとともに、原典資料の読解能力の向上を目指したい。	
	芸術学資料研究	芸術諸分野の研究に欠かすことのできない種々のテキストの分析と読解を行い、文献資料の読解力を養うとともに、多様に展開する芸術の諸相について理解を深めるために芸術作品の分析を通して学習し、広く博物館資料等実物資料を研究する能力を養うことを目標とする。	
	地理学地域文化学資料研究	人文地理学及び地域文化研究を成り立たせてきた学史上重要な古典的研究、現代の研究の最前線をリードする諸研究など、さまざまな文献研究を行うほか、研究方法でもありその成果でもある地図をはじめ、たとえばツーリズムに関する写真やガイドブックなどを含むような、地域文化を表象する各種メディアについての研究も行う。	
	日本史学文献研究	中世及び近世史料、さらには明治大正期における議会文書や新聞などの報道資料も加え、その読解のみならず、当該史料の書かれた時代及び社会状況、さらには書き手の意図にまで踏み込むことで、史料の背後に潜む歴史事実の真相に迫り、その論理的解析の手法を教授する。	
	アジア史学文献研究	漢文（中国古典文）と現代中国語、または西アジア言語（アラビア語・ペルシア語など）で書かれた文献史料を取り上げ、その読解のみならず当該史料の書かれた時代及び社会状況、さらには書き手の意図にまで踏み込み、史料の背後に潜む歴史事実の真相に迫る。	
	西洋史学文献研究	西洋史学の本格的な研究を進めるために必要とされる、研究文献の読解力と批判力の養成を主眼とする。研究領域に応じて、英語の他、ヨーロッパ古典語、フランス語、ドイツ語などの能力が求められばかりでなく、教材を通じて、方法論はもとより、研究史、学説史の整理の仕方や、議論の進め方、ひいては研究の独創性のあり方、などについて理解する力を培う。	
演習科目	哲学研究演習	哲学及び関連諸学を論じた、哲学史上の古典的な文献の読解をもとに、参加者による議論を深めることで、道徳、宗教、芸術、科学、歴史、社会、自然など、さまざまな領域における哲学的問題への探求の方法論を提示する。	
	美学芸術学研究演習	美学及び美術、工芸、演劇、映像、音楽などの諸芸術を研究するために、各分野の専門研究者にとって不可欠な知識や研究方法の習得を目標にして基本的な文献の講読や作品鑑賞・分析を行うとともに、修士論文を前提とした研究発表や討論などを行う。	

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
演習 科目	地理学地域文化学研究 演習	人文地理学を中心に据え、あわせて文化人類学、民俗学、都市社会研究など、地域文化に関わる隣接諸学の成果を積極的に取り入れながら、人と自然、地域と文化、人間と景観、社会と環境などに焦点を定めた研究を行う。環境利用、観光、民俗文化、都市移住などの諸課題への取り組みでは、国内外でのフィールドワークや広汎な資料収集などの実践を重視する。	
	日本史学研究演習	日本史学（古代史・中世史・近世史・近現代史）における、律令国家論、官僚制度、民衆意識、社会風俗や村落構造などから重要課題を選び、文献史料を仲介にして、近年の研究動向を見据えるなかで、新たな研究視点のもとで斬新な研究分野への試みを指導する。	
	アジア史学研究演習	アジア史学のなか、東アジアにおける中国と西アジア全域を対象として、固有の地域性と世界的連動性の視野のもと、政治・経済・社会さらには文化方面にも視野を広げるなか、文献史料を仲介にして、近年の研究動向を見据えながら、新たな研究視点のもとで斬新な研究分野への試みを指導する。	
	西洋史学研究演習	ヨーロッパ、アメリカ、ならびに西洋文明が影響を与えた地域における、先史時代から現代に至るまでの歴史事象のなかから、政治、経済、社会、文化などに関わる課題を設定して、専門的で高度な西洋史学の研究を行う。関係史料の読解を可能とする外国語能力の向上を図るとともに、積極的な研究発表や討論を重視する。	

授 業 科 目 の 概 要			
(文学研究科総合心理科学専攻博士課程前期課程)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特殊講義科目	心理学特殊講義	心理学のさまざまな領域のなかから、さらに個別的な研究分野のひとつまたは関連するいくつかの分野を対象として、その分野における最新の知見、及びそこで用いられる研究上の方法論やパラダイムも視野に含めた高度の知識を教授することを目的に、主として講義形式で行う。さらに必要に応じて、講義以外にも演習や実習の形式も取り入れ、最先端の知見を多面的かつ確実に修得させることを目標とする。	
	社会心理学特殊講義	社会心理学の領域を対象に、その理論構築や内外の研究成果、最新の知見などについて、講義及び文献資料の講読などを通して教授する。あわせて、この領域における研究データの収集や分析の手法についても取り上げ、関連近接領域への関心と理解を促進する。	
	教育心理学特殊講義	教育心理学のさまざまな領域のなかから、生涯発達、社会福祉、臨床ソーシャルワーク、精神保健福祉、メンタルヘルスなどの分野を取り上げ、それらの分野における高度で最新の知見を多角的に修得することを目的に、主として講義形式で行い、基礎から臨床にまたがる多様な領域の統合的理解を目指す。	
	心理臨床学特殊講義	心理臨床分野におけるさまざまな事例や基礎的理論について講義し、さらに精神科医療の領域における心理臨床的介入についても検討する。基礎的な事項の講義に加えて、具体的な事例や症例へのアプローチ法や検査法についても取り上げ、基礎から実践に連なる多面的な領域の理解と確実な理論的把握を目標とする。	
	臨床教育学特殊講義	現代教育の課題と展望を、学校教育を中心に、家庭、地域との連携を視野に入れつつ、臨床教育学の立場から論じる。さまざまな場での、教育実践の紹介を具体的に行うとともに、従来の研究枠組みを批判的に吟味しながら、理論と実践の統合を目指した、新たな教育学研究のあり方を探る。	
	教育史特殊講義	「近代英国成人学習の社会史」というテーマで講ずる。具体的には、18・19世紀に、向上心と自己改善の意欲をもった成人の間で積極的に試みられた学習活動ならびに余暇充実活動を、今日の生涯学習活動の先駆として注目し、そうした活動が展開された、いくつかの拠点を中心に講述する。	
	教育社会学特殊講義	教育現象を社会的に解明する方法的独自性を中心に、以下のテーマで講義する。1. 教育社会学の基本的性格と歴史的展開 2. 教育社会学の研究法 3. 家族の文化伝達機能と子どもの社会化 4. 遊びの教育的意義 5. 学校組織の社会的機能 6. 学校文化と生徒文化 7. 学級集団の構造と機能 8. マスメディアと青少年	
	教育哲学特殊講義	今日、教育学の領域では、従来の理論的枠組みを教育の現実には照らして批判的に吟味しようという試みが活発に展開されている。本講義では、近年に発表された教育学研究文献（主として教育哲学・教育人間学）の検討を通して、現代教育の錯綜した問題的状况を分析・考察するための理論的基礎を構築することを目指す。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特殊講義科目	学校教育学特殊講義	今日、学校教育を取り巻く社会的・文化的状況は大きく変化しつつある。本講義では、このような状況にある現代日本の教育の特質について、特に学校教育を中心に、「教育と人間」「教育と社会」という視点からの総合的アプローチを試みる。また、教育改革や学校改善について、先駆的事例を取り上げながら検討することで、学校教育が直面する諸課題の解決に向けた理論と実践の結びつきの可能性について考究する。	
	実践教育学特殊講義	今日の学校教育は、児童生徒の問題行動の多様化と複雑化にともない、常に新たな実践課題に直面している。特に近年、不登校やいじめ、非行、学級崩壊などの問題に代表されるように、個々の問題行動に対し、専門的な知見と生徒理解に基づいた対応策が求められている。本講義では、上述した諸問題に関連した、問題行動の予防と指導のあり方を巡って、実践教育学的に明らかにしていくことを目的とする。	
	統計基礎理論	実証的な行動科学研究には統計・計量的手法の理解が必須となる。この科目はそのために必要な数学及び数理統計学の基礎についての知識を習得させることを目標とする。授業は講義に加え、計算機を用いた実習を行うことにより、行動科学の研究遂行に必要な統計・計量的手法についての理論的側面に加え、実際の運用能力の涵養を重視する。行動科学研究法A～Eのための基礎を提供する科目として位置づける。	
	行動科学研究法A	実証的な行動科学研究において必須となる統計手法のうち、特に多くの計量的手法の基礎となる統計的線型モデルについての知識及び手法の運用能力の習得を目標とする。授業は講義に加え、受講生の専門領域に応じた問題を取り上げ、計算機を用いた演習を行い、統計手法の多面的な理解を目指す。	
	行動科学研究法B	実証的な行動科学研究において必須となる手法のうち、特に質的調査法について、手法の基礎から、その意義や最新の適用事例研究などの知見について教授する。授業は講義に加え、質的調査法の一部については演習を実施し、手法及びその基礎についての総合的な理解を目指す。	
	行動科学研究法C	実証的な行動科学研究において必須となる統計手法のうち、特に近年めざましい発展がみられる構造方程式モデル分析について、数理的基礎から実際の運用に至るまでの知識について教授する。授業は講義に加え、受講生の専門領域に応じた問題を取り上げ、計算機を用いた演習を行い、統計手法の多面的な理解を目指す。	
	行動科学研究法D	実証的な行動科学研究において必須となる統計手法のうち、多くの分野での応用が可能な尺度開発の理論と実践、及び行動科学における測定・計測について理解することを目標とする。行動科学全般の領域からの新しい研究知見を取り上げ、受講生の専門領域以外の研究領域にも知見を広げさせ、行動科学全般における概念的基礎である測定・計測についての深い理解を目指す。	
	行動科学研究法E	実証的な行動科学研究の基礎となるデータ採取、標本抽出に関して、理論的側面から実践的諸手法にわたるまでを、講義ならびに事例研究を通して理解することを目標とする。行動科学全般の領域からの事例を取り上げることにより、受講生の専門領域以外の研究領域にも知見を広げさせ、行動科学全般における概念的基礎であるデータ採取・標本抽出についての深い理解を目指す。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
実験実習科目	心理学実験研究	心理学の様々な領域において用いられている個別的かつ専門的な研究手法について、実験法、実験パラダイムの構成とその実施、データの収集と解析法、統計的手法の導入法、さらに最新実験機器の取り扱いと使用法、新たな研究方法の開発など、実証的研究を推進していく上で不可欠な知識と技術を修得させることを目的に、講義及び実験実習の形式で行う。履修者の研究テーマに対応して、その分野での研究における高度な研究能力の涵養を目標とする。	
	教育心理学臨床研究	教育心理臨床場面におけるさまざまな課題のなかから、主として思春期の問題を取り上げる。教育現場での問題を中心に、事例研究法により評価と心理療法の諸問題を考察することを目的とする。実際の事例を取り上げ、グループスーパービジョンによる実習を通して、具体的な事例の問題を理解し、それに対応する能力を高めることを目標とする。	
	心理臨床学臨床研究	心理臨床場面において最も重要な心理検査や評価（アセスメント）について、心理臨床プログラムを計画するために必要な具体的検査法の習得や、情報の収集及び評価における臨床家の技術や態度の涵養を目的に、基礎的事項の講義及び具体的な事例を対象とした実習の形態で行う。厳密な評価に基づいて、真に効果的な臨床的介入プログラムを構築する能力の獲得を目指す。	
研究科目	心理学特殊研究	心理学及びその関連領域のなかから、特に個別的かつ独自の分野をひとつ取り上げ、当該分野における最新の研究知見や研究法などについて、さらに掘り下げたレベルでの理解を得ることを目的に、主として講義形式で行う。特に理工系、医学系など心理学とも密接に関連した応用領域に踏み込み、心理学をより深くかつ相対的に把握する視点を修得させることを目標とする。	
	心理学臨床研究	心理学の重要な応用領域のひとつである心理臨床の様々な現場を対象に、具体的な臨床アプローチや治療的介入についての実践的な知識と技術を教授する。さらに、Scientist-Practitioner Modelの観点から、実証臨床心理学における多様な研究法の実態と新しい可能性を探り、基礎研究と応用研究の連携に対する理解を深めることを目標とする。	
演習科目	心理学研究演習	心理学のさまざまな領域を対象に、高度の専門知識と最新の研究知見を得ることを目標に演習形式で開講する。内容は主に履修者の研究発表及び内外の最新研究論文の紹介と分析から構成され、履修者相互の討議を中心に進められる。これにより、履修者各自の研究の方向付け、及びさらなる研究能力の向上を達成する。	
	教育心理学研究演習	教育心理学のさまざまな領域を対象に、高度の専門知識と最新の研究知見の獲得を目標に演習形式で開講する。主に履修者の研究発表及び内外の最新研究論文の紹介と分析、さらには臨床実習等で経験した症例の報告から構成され、履修者相互の討議を中心に進められる。これらにより、履修者各自の研究の深化をはかる。	
	臨床教育学研究演習	受講者各自の研究テーマに関連する、内外の文献の報告と検討を中心としながら、担当教員の専門分野との関連性のなかで深化、発展させることで、臨床教育的なアプローチによる専門的・実践的な研究能力の習得を目指す。	

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
演習 科目	学校教育学研究演習	受講者各自の研究テーマに関連する、内外の文献の報告と検討を中心としながら、担当教員の専門分野との関連性のなかで深化、発展させることで、学校教育学的なアプローチによる専門的・実践的な研究能力の習得を目指す。	

授 業 科 目 の 概 要			
(文学研究科文学言語学専攻博士課程前期課程)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特殊講義科目	日本文学特殊講義	古代より現代にいたる日本文学を、古事記・日本書紀、物語、軍記物語、説話、和歌、俳諧、詩、随筆、日記文学、評論など多様なジャンルにわたって取り上げ、高度に専門的なテーマに即して考察しつつ、作家、作品、時代、文化、歴史等の特質について解明する。学際的領域を俯瞰する広い視野と、専門的知見の深化を目指しつつ、日本文学全般を、学術研究の今日的課題と要請を踏まえてさまざまな視点から検討し、専門的研究の現状や展望を複眼的に分析するための知見を教授する。	
	中国文学特殊講義	古代より現代までの中国文学を、漢詩、唐詩などの韻文、史記、三国志などの歴史書、志怪・怪異文学、小説など多様なジャンルにわたって取り上げ、高度に専門的なテーマに即して考察しつつ、作家、作品、時代、文化、歴史等の特質について解明する。学際的領域を俯瞰する広い視野と、専門的知見の深化を目指しつつ、中国文学全般を、学術研究の今日的課題と要請を踏まえてさまざまな視点から検討し、専門的研究の現状や展望を複眼的に分析するための知見を教授する。	
	日本語学特殊講義	日本語学の研究領域及びその拡充・発展の可能性について講義し、議論する。これを基軸として、音声学、音韻論、統語論、意味論、語用論などの理論的学問体系の高度な総合的理解と有機的分析力を培う。それらはまた、共時（現代日本語）と通時（日本語の歴史）という縦横の座標軸への精確な位置づけにおいて推進される。加えて、その応用分野であるテキスト・談話分析、翻訳論などのテーマへの拡大も視野に入れる。これらを通じて、日本語の特質を体系的、構造的かつ多面的、重層的に解明する能力を養うことを目指す。	
	イギリス文学特殊講義	中世から現代にいたるイギリス文学を、小説、演劇、詩、日記、評論など多様なジャンルにわたって取り上げ、高度に専門的なテーマに即して考察しつつ、作家、作品、時代、文化、歴史等の特質について解明する。学際的領域を俯瞰する広い視野と、専門的知見の深化を目指しつつ、イギリス文学全般を、学術研究の今日的課題と要請を踏まえてさまざまな視点から検討し、専門的研究の現状や展望を複眼的に分析するための知見を教授する。	
	アメリカ文学特殊講義	18世紀から現代にいたるアメリカ文学を、小説、演劇、詩、日記、評論など多様なジャンルにわたって取り上げ、高度に専門的なテーマに即して考察しつつ、作家、作品、時代、文化、歴史等の特質について解明する。学際的領域を俯瞰する広い視野と、専門的知見の深化を目指しつつ、アメリカ文学全般を、学術研究の今日的課題と要請を踏まえてさまざまな視点から検討し、専門的研究の現状や展望を複眼的に分析するための知見を教授する。	
	比較文学特殊講義	広く西洋文学全般の諸ジャンルを、小説、演劇、詩、日記、評論など多様なジャンルにわたって取り上げ、高度に専門的なテーマに即して考察しつつ、作家、作品、時代、文化、歴史等の特質について解明する。学際的領域を俯瞰する広い視野と、専門的知見の深化を目指しつつ、西洋文学及び文化を、学術研究の今日的課題と要請を踏まえてさまざまな視点から検討し、専門的研究の現状や展望を複眼的に分析するための知見を教授する。	
	英語学特殊講義	現代英語のさまざまな構文について、その実態の解明に努める。アプローチの仕方としては、文法・語法の観点から、あるいは、生成文法の観点から、さらには日英語対照言語学の観点からなどをあげることができる。どのような観点からのアプローチにしろ、実態の解明には最近ではコーパスやネイティブ・チェックの援用は不可欠であることは言うまでもない。したがって、その両者をどのように用いるかといった点の指導も行う。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特殊講義科目	言語学特殊講義	理論言語学の観点から、生成文法の最新の理論のいくつかについて紹介する。その上で、実際に統語現象のいくつかを取り上げ、それらの理論との適合性について検討を加える。その際、既存の理論のいずれかに適合すれば問題はないが、そのいずれにも適合しない場合には新たな仮説を提示する。さらに、生成文法の目指すところが人間の言語能力の解明である点を考慮するなら、人間の言語事実の認知の仕方を探る、認知言語学も射程に入れる。	
	フランス文学特殊講義	フランス文学における主要な文学的潮流、古典主義、ロマン主義、レアリスム、象徴主義、そして20世紀のさまざまな傾向を対象に講義する。授業形態は講義形式を基本とするが、随時、文献講読方式や双方向形式の演習によって受講者の理解を深める方策も講ずる。多面的な講義形態により、設定した研究領域の包括的理解や作品研究の方法に関する知識を得させると同時に、具体的文献に触れさせることによって当該領域を専門的に研究する手がかりも得させることを教授目標とする。	
	フランス文学史特殊講義	中世から現代にいたるフランス文学の歴史に関わるさまざまな主題を講義する。中世騎士文学から現代の文学潮流までを対象とした講義を行う一方、随時、文献講読方式や双方向形式の演習によって受講者の理解を深める方策も講ずる。多面的な講義形態により、設定した時代領域の包括的理解を得させると同時に、具体的文献に触れさせることによって当該領域を専門的に研究する手がかりも得させることを教授目標とする。	
	フランス語学特殊講義	フランス語学の研究領域及びその拡充・発展の可能性について講義し、議論する。これを基軸として、音声学、音韻論、統語論、意味論、語用論などの理論的学問体系の高度な総合的理解と有機的分析力を培う。それらはまた、共時（現代フランス語）と通時（フランス語の歴史）という縦横の座標軸への精確な位置づけにおいて推進される。加えて、その応用分野であるテキスト・談話分析、翻訳論などのテーマへの拡大も視野に入れる。これらを通じて、フランス語の特質を体系的、構造的かつ多面的、重層的に解明する能力を養うことを目指す。	
	ドイツ文学特殊講義	ドイツ文学における主要な文学的潮流、古典主義、ロマン主義、写実主義、表現主義、さらに現代文学のさまざまな傾向を講義する。授業形態は講義形式を基本とするが、随時、文献講読方式や双方向形式の演習によって受講者の理解を深める方策も講ずる。多面的な講義形態により、設定した研究領域の包括的理解や作品研究の方法に関する知識を得させると同時に、具体的文献に触れさせることによって当該領域を専門的に研究する手がかりも得させることを教授目標とする。	
	ドイツ文学史特殊講義	中世から現代にいたるドイツ文学の歴史に関わるさまざまな主題を講義する。中世騎士文学から現代の文学潮流までを対象とした講義を行う一方、随時、文献講読方式や双方向形式の演習によって受講者の理解を深める方策も講ずる。多面的な講義形態により、設定した時代領域の包括的理解を得させると同時に、具体的文献に触れさせることによって当該領域を専門的に研究する手がかりも得させることを教授目標とする。	
	ドイツ文化特殊講義	ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイスなど）の多様な文化を歴史的及び共時的に研究するための知識・方法について講義する。授業形態は講義形式を基本とし、随時、文献講読方式や双方向形式の演習によって受講者の理解を深める方策も講ずる。多面的な講義形態により、設定した研究領域の包括的理解や作品研究の方法に関する知識を得させると同時に、具体的文献に触れさせることによって当該領域を専門的に研究する手がかりも得させることを教授目標とする。	
	ドイツ語学特殊講義	ドイツ語学の研究領域及びその拡充・発展の可能性について講義し、議論する。これを基軸として、音声学、音韻論、統語論、意味論、語用論などの理論的学問体系の高度な総合的理解と有機的分析力を培う。それらはまた、共時（現代ドイツ語）と通時（ドイツ語の歴史）という縦横の座標軸への精確な位置づけにおいて推進される。加えて、その応用分野であるテキスト・談話分析、翻訳論などのテーマへの拡大も視野に入れる。これらを通じて、ドイツ語の特質を体系的、構造的かつ多面的、重層的に解明する能力を養うことを目指す。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特殊講義科目	Research Methods & Writing	英語で学術論文を書くための専門的知識や、論旨構築の方法を、欧米の研究者による学術論文の分析や、個別のテーマに沿った小論文の作成を通して習得する。学術論文の書式、表現、要語をはじめとして、さまざまな文献に関する書誌情報の記述の仕方、ネット情報の利用方法やその典拠の記述の仕方、校正の方法、校正記号の使い方など、学術研究論文を執筆し刊行するまでに必要な専門的知識全般について、具体的な添削指導を通して教授する。	
	ギリシア語A	西洋の哲学、歴史、文学、美術など、広く西洋の精神史にかかわるギリシア語について、その文法的基礎や文化史的背景を考察し、イギリスやアメリカの文学をはじめ、言語学や比較文学の専門研究にも資する学術的知見の修得を目指す。さらに、比較的平易なギリシア語のテキストを取り上げ、ギリシア語読解の実際を通して、高度な文献読解のための専門教育を施しつつ、西洋文学の特質を俯瞰する知識を教授する。	
	ギリシア語B	西洋の哲学、歴史、文学、美術など、広く西洋の精神史にかかわるギリシア語について、その文法的基礎や文化史的背景を、専門的領域や文献に視野を広げて考察する。ギリシア語の古典を中心にテキスト読解の方法を教授し、イギリスやアメリカの文学を始め、言語学や比較文学の専門研究に資する学術的知見の修得を目指す。また、ギリシア古典文学の分析・読解を通し、高度な学術論文を読みこなすための知見と、西洋文学の特質を俯瞰する専門的視野を教授する。	
	ラテン語A I	西洋の哲学、歴史、文学、美術など、広く西洋の精神史に関わるラテン語について、その文法的基礎や文化史的背景を考察し、イギリスやアメリカの文学をはじめ、言語学や比較文学の専門研究にも資する学術的知見の修得を目指す。さらに、比較的平易なラテン語のテキストを取り上げ、ラテン語読解の実際を通して、高度な文献読解のための専門教育を施しつつ、西洋文学の特質を俯瞰する知識を教授する。	
	ラテン語B I	西洋の哲学、歴史、文学、美術など、広く西洋の精神史に関わるラテン語について、その文化史的背景やラテン文学の伝統を広い専門的視野から考察し、イギリスやアメリカの文学をはじめ、言語学や比較文学の専門研究にも資する学術的知見の修得を目指す。更に、上級ラテン語のテキストを取り上げ、ラテン語読解の実際を通して、ラテン語古典文献読解のための専門教育を施しつつ、西洋文学の特質を俯瞰する専門的知識を教授する。	
	ラテン語A II	西洋の哲学、歴史、文学、美術など、広く西洋の精神史にかかわるラテン語について、その文法的基礎や文化史的背景の知識を深め、イギリスやアメリカの文学を始め、言語学や比較文学の専門研究にも資する学術的知見の修得を目指す。更に、中級程度のラテン語のテキストを取り上げ、ラテン語読解の実際を通して、高度な文献読解のための教育を施しつつ、西洋文学の特質を俯瞰する学術的知識を教授する。	
	ラテン語B II	西洋の哲学、歴史、文学、美術など、広く西洋の精神史に関わるラテン語について、その文化史的背景やラテン文学の伝統を、様々なジャンルのテキストにわたって考察し、イギリスやアメリカの文学をはじめ、言語学や比較文学の専門研究にも資する学術的知見の修得を目指す。更に、古典ラテン語文献や、中世ラテン語文献、ルネサンス期のラテン語文献などの読解を通して、多様な文献読解のための専門教育を施し、西洋文学の特質を俯瞰する高度に学術的な知識を教授する。	
研究科目	日本文学文献研究	古代より現代にいたる日本文学を、古事記・日本書紀、物語、軍記物語、説話、和歌、俳諧、詩、随筆、日記文学、評論など多様なジャンルにわたって取り上げ、広く周辺領域の文献資料も視野に収めつつ、高度に学術的なテキストの分析を通して、専門的研究に直結したテーマ、視点、手法、理論などを発見し検討するための実際的訓練を行う。学術研究の今日的課題と要請に基づき、近年大きく変貌した文学研究の諸方法・理論を実際のテキスト解釈に随時援用しつつ、その可能性や問題点についてもさまざまな視点から検討する。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究科目	日本語学文献研究	日本語学に関する専門文献を精読することを通じて、日本語学の諸問題について高度な理解と分析力を養う。対象となる文献は歴史的にも（古文書、古文、漢文等）、分野的にも（国語学、日本語学、日本語教育学等）多岐にわたる。受講者の文献解読の能力が育成されるのと同時に、そこから自主的に問題の在り処を発見でき、さらにはその解決への道筋を見出すことが可能になるよう授業を構成する。	
	イギリス文学文献研究	中世から現代にいたるイギリス文学を、小説、演劇、詩、日記、評論など多様なジャンルにわたって取り上げ、広く周辺領域の文献資料も視野に収めつつ、高度に学術的なテキストの分析を通して、専門的研究に直結したテーマ、視点、手法、理論等を発見し検討するための実際的訓練を行う。学術研究の今日的課題と要請に基づき、近年大きく変貌した文学研究の諸方法・理論を実際のテキスト解釈に随時援用しつつ、その可能性や問題点についてもさまざまな視点から検討する。	
	アメリカ文学文献研究	18世紀から現代にいたるアメリカ文学を、小説、演劇、詩、日記、評論など多様なジャンルにわたって取り上げ、広く周辺領域の文献資料も視野に収めつつ、高度に学術的なテキストの分析を通して、専門的研究に直結したテーマ、視点、手法、理論等を発見し検討するための実際的訓練を行う。学術研究の今日的課題と要請に基づき、近年大きく変貌した文学研究の諸方法・理論を実際のテキスト解釈に随時援用しつつ、その可能性や問題点についてもさまざまな視点から検討する。	
	英語学文献研究	英語学関連のテーマについて、それに関する必読の文献資料を渉猟し、比較検討のうえ、その文献資料の中身の妥当性・改善点などを論じ合う。論文作成に向けて、こうした作業は欠かすことができないものであり、受講生の関心のおもむくところに応じて、随時テーマの設定を行い、文献資料を探索のうえ、それらについても批判的に読む訓練を積み重ねる。文献資料の種類としては、テーマのいかんにかかわらず、新しいものだけでなく、場合によっては古典的な名著をも取り上げる。	
	フランス文献研究	フランス文学・フランス語学研究にとって重要な代表的作品、批評、研究書などをテキストとする文献研究を行う。授業形態は、講読の形式を基本とするが、随時担当箇所を分担して、発表、質疑応答、議論を含む演習形式も採用する。文献研究を通して、フランス文学・フランス語学研究の基礎となる文献処理の技法、フランス語語彙力、フランス語による発表能力を養成する。	
	ドイツ文献研究	ドイツ文学・ドイツ語学研究にとって重要な代表的作品、批評、研究書などをテキストとする文献研究を行う。授業形態は、講読の形式を基本とするが、随時担当箇所を分担して、発表、質疑応答、議論を含む演習形式も採用する。文献研究を通して、ドイツ文学・ドイツ語学研究の基礎となる文献処理の技法、ドイツ語語彙力、ドイツ語による発表能力を養成する。	
演習科目	日本文学研究演習	古代より現代にいたる日本文学を、古事記・日本書紀、物語、軍記物語、説話、和歌、俳諧、詩、随筆、日記文学、評論などを多様なジャンルにわたって取り上げ、広く周辺領域の文献資料も視野に収めつつ、高度に学術的なテキストの分析を通して、専門的研究に直結したテーマ、視点、手法、理論等を発見し検討するための実際的訓練を行う。また、これと平行して、学術研究の今日的課題と要請を視野に収めつつ、個別の研究テーマに沿ってテキストを分析し、学術的議論を構築するための専門的知見と手法を教授する。	
	日本語学研究演習	受講者の論文作成の指導を目的として、個別のテーマに即して日本語学の諸問題を深く掘り下げる。論文執筆における基本的ルールを確認するとともに、原典の解読、先行研究の調査、問題設定、説得力のある論の立て方、文章の推敲など、学術的に優れた論文の完成への道筋を示す。個々の受講者のテーマに直接・間接に関わる材料を常に提供するとともに、受講者相互が高度な学問的刺激を与え合うよう授業を進める。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
演習科目	イギリス文学研究演習	中世から現代にいたるイギリス文学を、小説、演劇、詩、日記、評論など多様なジャンルにわたって取り上げ、広く周辺領域の文献資料も取り入れつつ、高度に学術的なテキストの分析を通して、専門的研究に直結したテーマ、視点、手法、理論等を発見し検討するための実際的訓練を行う。また、これと平行して、学術研究の今日的課題と要請を視野に収めつつ、個別の研究テーマに沿ってテキストを分析し、学術的議論を構築するための専門的知見と手法を教授する。	
	アメリカ文学研究演習	18世紀から現代にいたるアメリカ文学を、小説、演劇、詩、日記、評論など多様なジャンルにわたって取り上げ、広く周辺領域の文献資料も取り入れつつ、高度に学術的なテキストの分析を通して、専門的研究に直結したテーマ、視点、手法、理論などを発見し検討するための実際的訓練を行う。また、これと平行して、学術研究の今日的課題と要請を視野に収めつつ、個別の研究テーマに沿ってテキストを分析し、学術的議論を構築するための専門的知見と手法を教授する。	
	英語学研究演習	統語論、意味論、語用論、形態論、文法、語法、英語史というように、さまざまな専門領域に関するテーマを取り上げて研究・演習を行う。統語論については生成文法の立場から、形態論については英語のみならず日本語の語形成も、文法・語法、英語史に関しては伝統的な見方のみならず最新の見方も、というようにいろいろな切り口からアプローチする。研究成果を修士論文・博士論文作成に結び付ける。	
	フランス文学研究演習	フランス文学を専門的に研究するために必要な技術や知識を実践的に身に付けさせる。教員による指導の下で、各自が作成した研究計画に基づいて、文献調査、文献研究、その他の調査の報告を行い、それに関する発表や討議を行うことにより、フランス文学研究に必要なトータルな能力を身に付けることを教授目標とする。	
	フランス語学研究演習	受講者の論文作成の指導を目的として、個別のテーマに即してフランス語学の諸問題を深く掘り下げる。論文執筆における基本的ルールを確認すると共に、原典の解説、先行研究の調査、問題設定、説得力のある論の立て方、文章の推敲など、学術的に優れた論文の完成への道筋を示す。個々の受講者のテーマに直接・間接に関わる材料を常に提供すると共に、受講者相互が高度な学問的刺激を与え合うよう授業を進める	
	ドイツ文学研究演習	ドイツ文学・ドイツ文化を専門的に研究するために必要な技術や知識を実践的に身に付けさせる。教員の指導の下、各自が作成した研究計画に基づいて、文献調査、文献研究、その他の調査の報告を行い、それに関する発表や討議を行うことにより、ドイツ文学・ドイツ文化研究に必要なトータルな能力を身に付けることを教授目標とする。	
	ドイツ語学研究演習	受講者の論文作成の指導を目的として、個別のテーマに即してドイツ語学の諸問題を深く掘り下げる。論文執筆における基本的ルールを確認するとともに、原典の解説、先行研究の調査、問題設定、説得力のある論の立て方、文章の推敲など、学術的に優れた論文の完成への道筋を示す。個々の受講者のテーマに直接・間接に関わる材料を常に提供するとともに、受講者相互が高度な学問的刺激を与え合うよう授業を進める。	
	言語科学研究演習	受講者の論文作成の指導を目的として、言語の構造、機能を科学的に分析する能力を高める。論文執筆における基本的ルールを確認するとともに、原典の解説、先行研究の調査、問題設定、説得力のある論の立て方、文章の推敲など、学術的に優れた論文の完成への道筋を示す。個々の受講者のテーマに直接・間接に関わる材料を常に提供するとともに、受講者相互が高度な学問的刺激を与え合うよう授業を進める。	

授 業 科 目 の 概 要			
(文学研究科文化歴史学専攻博士課程後期課程)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
演習科目	研究演習	修士論文など前期課程で達成した研究の成果をもとに、さらに博士学位論文という次の目標に向けた研究計画を確実に作り上げることを目的とする。当該分野に関する研究史の展望や、研究目的、課題と方法の検討などを進めるとともに、個人の研究発表や発表をめぐる討論などゼミナール形式を通じて学生の主体的な取り組みを導いてゆく。	
	博士論文作成演習	博士論文計画書を提出してその承認を得た学生を対象に、博士学位申請論文の作成を目的とする研究指導を行う。既往研究の評価を踏まえた研究課題の設定、方法論の検討、資料収集や分析方法の整備、具体的な個別研究の積み重ねなどの過程を着実にへることによって、最終的には博士学位申請論文の完成に導く。なお、中間段階として博士予備論文の提出とその承認を義務づけている。	
特別研究	特別研究（研究指導）	阿河 雄二郎教授 近代フランスの政治社会史、特に王権論や貴族・官僚制の問題を中心課題とし、当時の社会的実相に迫るなかで、研究の実践法を教示する。	
	特別研究（研究指導）	網干 毅教授 西洋音楽史、特に中世からルネサンスにかけて起こったスタイルの変換とその奥にあるであろう「音楽聴」の変化の解明に向けての研究法を提示、指導する。	
	特別研究（研究指導）	荒山 正彦教授 近代日本における観光と風景をめぐる文化地理学、特に満州などへの植民地観光や風景論の系譜を中心課題とし、前期課程の講義や個別指導を行うなかで、学生の研究の進展に側面からの援助を行う。	
	特別研究（研究指導）	榎本 庸男教授 カントの実践哲学が、歴史や社会、そしてそこでの法や政治に関してどれほどの射程を持つかを中心課題とし、研究の実践法を教示する。	
	特別研究（研究指導）	加藤 哲弘教授 ヴァールブルク (Aby Warburg, 1866-1929) のイコノロジーを手がかりに、西欧の美術とその解釈の方法論を中心課題とし、研究の実践法を教示する。	
	特別研究（研究指導）	河上 繁樹教授 日本の中世・近世の染織品、特に江戸時代前期の小袖を中心課題とし、その復元作業を行うとともに、考察を加えるなかで研究展開について指導する。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特別研究	特別研究（研究指導）	木村 秀海教授 甲骨文・西周金文・侯馬盟書など先秦時代の出土資料を中心課題とし、文献史料との対比を行い、考察を加えるなかで研究展開について指導する。	
	特別研究（研究指導）	阪倉 篤秀教授 明王朝の官制全体の構造を今一度見直すなかで、特に官僚の人事問題及び内閣制度の政書における定義づけとその実体との乖離の解明に向けての研究法を提示、指導する。	
	特別研究（研究指導）	志村 洋教授 日本近世の村落とそこでの中間層、具体的には大庄屋行政区などの村を越えた領域を題材に、政治的・経済的諸関係の解明を行うなかで、前期課程の講義や個別指導を通して、学生に対して、近世史観を教授することで、研究の進展に補助的役割を担う。	
	特別研究（研究指導）	高岡 裕之教授 日本の近現代、特に第一次世界大戦から高度成長期にかけての社会と文化を中心課題とし、なかでも大衆文化への視点を重視するなかで、前期課程の講義において、学生たちが近現代史の歴史意識を基盤に、広く深く古代・中世・近世への視点を持ちうるよう指導を行う。	
	特別研究（研究指導）	田中 きく代教授 アメリカ合衆国史にみる政治文化、特に、人種やエスニシティ、そして性差による差異が、アメリカ政治にどのように反映されているかを中心課題とし、研究の実践法を教示する。	
	特別研究（研究指導）	田淵 結教授 キリスト教聖書、特に旧約文献の表現に含まれるイデオロギー性と史的事実との関連に考察を加えるなかで、研究の実践について教示する。	
	特別研究（研究指導）	田和 正孝教授 日本を含むアジア・太平洋の小規模漁業について、特に人間と海洋環境との関係を中心課題とし、フィールドワークを含めて研究の実践法を教示する。	
	特別研究（研究指導）	永田 彰三教授 現代演劇を中心に、映像・現代美術の諸問題に考察を加えるとともに、今後の動向展開をも視野に収めて研究の実践について教示する。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特別研究	特別研究（研究指導）	永田 雄次郎教授 古代中国の絵画を和様化させ、藤原時代に成立したやまと絵が藤原時代から江戸時代までにみせた展開に考察を加えるなかで、研究の実践について教示する。	
	特別研究（研究指導）	中谷 功治教授 ビザンツ帝国の特質を、テマ制やイコノクラスムなどを手がかりにして、主に政治・軍事面に考察を加えるなかで、研究の実践について教示する。	
	特別研究（研究指導）	中西 康裕教授 『続日本紀』の編纂過程と、奈良時代及び平安時代前期の思想の解明を、社会的状況をも視野に収めるなかで、研究法を提示、指導する。	
	特別研究（研究指導）	成田 静香教授 中国古典文学、なかでも女性の社会的位置づけと存在感をテーマに、特に珠江デルタの自梳女や麗江の斎女など、結婚しない女の問題を考察するなかで、アジア史学のみならず日本文学の学生に対しても、中国文学の掘り下げた理解やそれを基にしての中国社会の理解を側面から指導する。	
	特別研究（研究指導）	西山 克教授 日本の中世社会を王権・始祖神話・怪異・聖地・巡礼・地獄をキーワードに、東アジア世界を生きた人びとの姿に考察を加えるなかで、研究の実践について教示する。	
	特別研究（研究指導）	畑 道也教授 ヨーロッパにける古典音楽から継承発展してきた西洋音楽史について考究し、その日本における受容の歴史と影響について研究するとともに、オーストラリア・トレス海峡諸島のキリスト教化にとまなう伝統音楽の変容をも対象に、個別指導を中心に学生指導を行う。	2008年3月退官予定
	特別研究（研究指導）	浜野 研三教授 こころの哲学、生命倫理、政治哲学を中心に、脳死者からの臓器移植、遺伝子工学、出生前診断の問題に考察を加えるなかで、研究の実践について教示する。	
	特別研究（研究指導）	嶺 秀樹教授 歴史的有限的な人間存在の存在論的解明を行うと共に、形而上学的素質を持った人間の精神的倫理的意味を中心課題とし、考察を加えるなかで研究展開について指導する。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特別研究	特別研究（研究指導）	八木 康幸教授 日本の民俗文化、なかでも、伝統を装いながら造り出される地域文化を中心課題とし、フィールドワークの実践をいっつ、考察を加えるなかで研究展開について指導する。	
	特別研究（研究指導）	後藤 裕加子准教授 前近代のイスラーム史におけるイランを中心としたペルシア語文化圏の歴史、特にサファヴィー朝時代の地方史と制度を中心課題として、前期課程の講義を担当するなかで、学生に広くユーラシア史への視点を持たせるための補助的役割を果たしていく。	
	特別研究（研究指導）	米虫 正巳准教授 19世紀から21世紀にかけてのフランス哲学史と科学認識論の展開を中心課題とし、考察を加えるとともに将来的展望を模索するなかで研究展開について指導する。	
	特別研究（研究指導）	佐藤 達郎准教授 中国古代の漢王朝の官僚制度とその変遷を、理念的背景となる文化史的側面にも着目しつつ、出土文字資料も活用して研究を進め、前期課程の講義や個別指導を通じて、学生の研究を側面から補助する。	
	特別研究（研究指導）	山口 覚准教授 近現代社会を都市化と移動という側面から捉え、特に阪神間都市に居住する出郷者の都市生活や、高度成長期に実施された制度的な労働力移動である「集団就職」の諸相に考察を加えるなかで、個別指導を行うことによって、学生の研究進展に側面からの補助を行う。	
	特別研究（研究指導）	久米 暁専任講師 現代英語圏の哲学、特にヒュームなどの近世英国哲学の現代的意義を明らかにし、事実と価値の区別・規範性の起源に焦点を当て、言語哲学・認識論・メタ倫理学の研究を進めるなかで、前期課程の講義を通じ、さらには個人指導を含めて、学生の研究進展を支援する。	

授 業 科 目 の 概 要			
(文学研究科総合心理学専攻博士課程後期課程)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
演習科目	研究演習	修士論文など前期課程で達成した研究の成果をもとに、さらに博士学位論文という次の目標に向けた研究計画を確実に作り上げることを目的とする。当該分野に関する研究史の展望や、研究目的、課題と方法の検討などを進めるとともに、個人の研究発表や発表をめぐる討論などゼミナール形式を通じて学生の主体的な取り組みを導いていく。	
	博士論文作成演習	博士論文計画書を提出してその承認を得た学生を対象に、博士学位申請論文の作成を目的とする研究指導を行う。既往研究の評価を踏まえた研究課題の設定、方法論の検討、資料収集や分析方法の整備、具体的な個別研究の積み重ねなどの過程を着実にへることによって、最終的には博士学位申請論文の完成に導く。なお、中間段階として博士予備論文の提出とその承認を義務づけている。	
特別研究	特別研究（研究指導）	井上 健教授 正常なあるいは病的な精神現象に伴って表出される身体現象を客観的に生理学的な指標を用いてとらえ、その背後にある心的過程や精神疾患に考察を加えるなかで、研究の実践について教示する。	2009年3月退官予定
	特別研究（研究指導）	浮田 潤教授 言語・記憶などの人間の高度な認知機能を探る認知心理学を中心課題とし、言語障害の症例やその回復訓練を視野に収めつつ考察を加えるなかで研究展開について指導する。	
	特別研究（研究指導）	雄山 真弓教授 生体情報の時系列データをカオス解析し、人間の心理・運動・発達・加齢等の関係を中心課題とし、データ解析を行うなかで研究の実践法を教示する。	2009年3月退官予定
	特別研究（研究指導）	桂田 恵美子教授 子供のなかにみられる攻撃性と偏った認知の仕方、愛着形態、親の養育態度との関連の解明に向けての研究法を提示するなかで、新たな研究展開について指導する。	
	特別研究（研究指導）	金丸 晃二教授 アメリカの教育思想家J. デューイの思想と教育実験、またイギリスの進歩主義教育思想を中心課題に考察し、前期課程の講義を通して、学生の研究進展に対して側面から援助する。	
	特別研究（研究指導）	佐々木 正昭教授 学校論と教師論、並びに生徒指導の具体的な場としての特別活動のあり方に考察を加えるなかで、教育実践現場での諸問題を視野に収めて研究の実践について教示する。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特別研究	特別研究（研究指導）	鳴崎 恒雄教授 人間の学習と思考の過程、特に因果帰納と呼ばれる推論過程に考察を加えるなかで、データ解析を行うなかで研究の実践について教示する。	
	特別研究（研究指導）	清矢 良崇教授 エスノメソドロジーや会話分析の手法で、子供の日常的な社会化の過程をミクロに分析する、「解釈的アプローチによる社会化研究」を中心課題とし、研究の実践法を教示する。	
	特別研究（研究指導）	中澤 清教授 特定のパーソナリティスタイルを有する人が環境との摩擦によってそのスタイルに関連する人格障害をおこすという理論に基づいて構成されたパーソナリティテスト10PesTの標準化を中心課題とし、考察を加えるなかで研究展開について指導する。	
	特別研究（研究指導）	成田 健一教授 青年期～老年期の人を対象に、質問紙を用いた心理学的構成概念の測定を中心課題とし、データ解析を行うなかで研究の実践法を教示する。	
	特別研究（研究指導）	松見 淳子教授 行動アセスメントと行動療法、障害児の早期介入と特別支援教育、異常行動と文化の関係に考察を加えるなかで、研究の実践について教示する。	
	特別研究（研究指導）	八木 昭宏教授 脳電位などの生理反応をコンピュータで処理をし、注意などの認知機能の分析、また、人と機械のインターフェイスなど心理学の工学への応用を中心課題とし、研究の実践法を教示する。	
	特別研究（研究指導）	中島 定彦准教授 バプロフ型条件づけ及びオペラント条件づけの基礎過程の連合論的実験分析を中心課題とし、考察を加えるなかで研究展開について指導する。	
	特別研究（研究指導）	米山 直樹准教授 不登校や軽度の発達障害を持つ子どもの問題を臨床心理学の方面から実践と研究をすすめ、教育現場における臨床心理学への導入促進を課題として、前期課程の講義の担当と個人指導を行うことによって、学生の研究進展に補助的な立場から指導を行う。	

授 業 科 目 の 概 要			
(文学研究科文学言語学専攻博士課程後期課程)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
演習科目	研究演習	修士論文など前期課程で達成した研究の成果をもとに、さらに博士学位論文という次の目標に向けた研究計画を確実に作り上げることを目的とする。当該分野に関する研究史の展望や、研究目的、課題と方法の検討などを進めるとともに、個人の研究発表や発表をめぐる討論などゼミナール形式を通じて学生の主体的な取り組みを導いていく。	
	博士論文作成演習	博士論文計画書を提出してその承認を得た学生を対象に、博士学位申請論文の作成を目的とする研究指導を行う。既往研究の評価を踏まえた研究課題の設定、方法論の検討、資料収集や分析方法の整備、具体的な個別研究の積み重ねなどの過程を着実にへることによって、最終的には博士学位申請論文の完成に導く。なお、中間段階として博士予備論文の提出とその承認を義務づけている。	
特別研究	特別研究（研究指導）	伊藤 了子教授 古フランス語、アングロ・ノルマンのテキスト研究、特に談話機能の観点から語順の調査を中心課題とし、考察を加えるなかで研究展開について指導する。	
	特別研究（研究指導）	浦 啓之教授 人間が言語に関して生得的に有している普遍的能力の構成内容と行使のメカニズムに考察を加えるなかで、研究の実践について教示する。	
	特別研究（研究指導）	大鹿 薫久教授 日本語文法、なかでも文構造の把握を目的として、いわゆる叙法と呼ばれる文法範疇の組織に考察を加えるなかで、研究の実践について教示する。	
	特別研究（研究指導）	大橋 毅彦教授 室生犀星とその周辺の大正・昭和文学、また日本近代文学のアジア体験を中心課題とし、中国現地での実地調査をも行いつつ、考察を加えるなかで研究展開について指導する。	
	特別研究（研究指導）	小川 暁夫教授 日独対照言語学、特に言語をタイプ分けすることで、その普遍性の発見と多様性の解明を中心課題とし、研究の実践法を教示する。	
	特別研究（研究指導）	小倉 肇教授 日本語の音韻変化の動因、なかでも固有の日本語音と外来の漢字音との動的関係に考察を加えるなかで、研究の実践について教示する。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特別研究	特別研究（研究指導）	小澤 博教授 中世後期からエリザベス/ジェイムズ両朝をへて王政復古に至る時代の演劇と詩を中心課題とし、社会的背景への視野のもと、研究の実践法を教示する。	
	特別研究（研究指導）	影山 太郎教授 英語と日本語を中心に、構文と意味の関係を明らかにし、特に動詞の意味構造を通して、人間の言語と認知・文化との関わりに考察を加えるなかで、研究の実践について教示する。	
	特別研究（研究指導）	鎌田 道生教授 20世紀ドイツ語圏の文学、特に「文学的モダニズム」の作家たち、ムージル、カフカ、ベン、Th・マン、ブレヒトの作品研究を中心課題とし、考察を加えるなかで研究展開について指導する。	2009年3月退官予定
	特別研究（研究指導）	木野 光司教授 ドイツ・ロマン主義及び19世紀ヨーロッパの都市文化や幻想文学に考察を加えるなかで、ドイツ語で表される文学的特質を解明し、研究の実践について教示する。	
	特別研究（研究指導）	倉賀野 安英教授 世紀転換期のオーストリア文学、その様々な形式が、「世紀末」の都市ウィーンとその文化を〈地〉に、どのような〈図〉を描いているかに考察を加えるなかで、研究の実践について教示する。	
	特別研究（研究指導）	杉山 寿美子教授 英語詩、特にT. S エリオットやW. B イェイツなどのイギリス現代詩を中心課題とし、前期課程での研究指導体制を継続しつつ、個別指導を行い、学生の研究を側面から援助する。	
	特別研究（研究指導）	曾我 祐典教授 フランス語を中心に、認知動詞・伝達動詞の機能、コミュニケーションの社会文化的要素の解明に向けての研究法を提示、指導する。	
	特別研究（研究指導）	田中 実教授 英語の形（form）と意味（meaning）について、その相関性や相違の解明を行い、日本における英語表現の活用に焦点を当てるなかで、研究法を提示、指導する。	

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特別 研究	特別研究（研究指導）	東浦 弘樹教授 20世紀フランスの小説・戯曲、なかでもアルベール・カミュの作品に考察を加えるなかで、当時の社会的背景をも視野に取めつつ、研究の実践について教示する。	
	特別研究（研究指導）	中谷 拓士教授 19世紀中葉におけるフランスのリアリズム運動、なかでもジャンフルーリの諸作品を中心課題とし、考察を加えるなかで研究展開について指導する。	
	特別研究（研究指導）	西谷 俊昭教授 ドイツ語を中心とした語彙論全般、特に認知意味論の観点から空間認知と言語表現の関係、また、文法化の現象の解明に向けての研究法を提示、指導する。	
	特別研究（研究指導）	花岡 秀教授 20世紀前半のアメリカ小説、とりわけ、W. フォークナーを中心とした南部作家の小説の空間構造に考察を加えるなかで、研究の実践について教示する。	
	特別研究（研究指導）	馬場 美奈子教授 20世紀後半のアメリカ小説、特にユダヤ系、アフリカ系、ネイティブアメリカンなどのエスニック文学及び女性文学における主体、民族性、相互的文化変容などの描き方を中心課題とし、研究の実践法を教示する。	
	特別研究（研究指導）	Olivier Birmann教授 日本語とフランス語にある固有の特徴と、また両者に現れる共通性とその現象に着目し、分析を加えることを課題に、日仏の言語学の応用による解明を行うとともに、日本におけるフランス語教育の効果的手法についても探求し、学生の研究の進展のために、さまざまな角度から教授していく。	
	特別研究（研究指導）	福岡 忠雄教授 イギリス ビクトリア朝期の小説、特にジェンダーやセクシュアリティなど新しい視点からトマス・ハーディ文学を中心課題とし、考察を加えるなかで研究展開について指導する。	
	特別研究（研究指導）	細川 正義教授 近代文芸、特に島崎藤村文芸を解明し、文芸史的意義を、自然主義文芸の成立と展開において究明することを中心課題とし、考察を加えるなかで研究展開について指導する。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特別研究	特別研究（研究指導）	森田 雅也教授 日本近世文学、特に西鶴とその周辺の文学を中心課題とし、日本近世社会の実相の解明を進めるなかで、研究の実践法を教示する。	
	特別研究（研究指導）	森藤 真成教授 小説論の古典Forsterの <i>Aspects of the Novel</i> を基準にして、Swift, Jane Austen、さらにはForster, Joyce, Lawrence, Mansfield, Woolfらの <i>novels</i> に考察を加えるなかで、研究の実践について教示する。	
	特別研究（研究指導）	高木 和子准教授 日本の古典文学、なかでも源氏物語を中心にして物語・和歌・日記文学を主たる対象に、日本古代の人々の思考のあり方に考察を加え、前期課程の講義や個人指導も交えて、学生の研究進展に側面から援助指導する。	
	特別研究（研究指導）	新関 芳生准教授 アメリカ文学に現れる医学的言説の分析を通して、文学テキストと身体テキストの関係性を明らかにするなかで、前期課程の講義と個別指導によって、学生の研究を補助的に支援する。	
	特別研究（研究指導）	橋本 安央准教授 19世紀のアメリカ小説、特にメルヴィルを中心に、家族の主題を中心課題とし、ひいては現在のアメリカ文学における家族の現在をめぐる諸課題にも焦点を当てるなかで、前期課程の講義に個人指導を加えることで、学生の研究を側面から支援する。	
	特別研究（研究指導）	山本 圭子准教授 古英語と初期中英語の語順や語の意味と統語構造、なかでも代名詞を含む文の語順、再帰代名詞の意味と古英語訳に対するラテン語の対応形、ゴート語・古ノルド語などにおける再帰形をテーマに、前期課程の講義、さらには個人指導を含めて、学生の研究進展を支援する。	
	特別研究（研究指導）	北村 昌幸専任講師 日本中世文学、特に軍記物語、なかでも平家物語や太平記などの歴史叙述の方法について研究し、その本文流動過程のなかでの転換をも視野に収めるなかで、前期課程の講義と個別指導によって、学生の研究を側面から援助していく。	
	特別研究（研究指導）	Andreas Rusterholz専任講師 スイスドイツ語圏におけるドイツ語の特質研究と、広くドイツ語と日本語と固有性の確認とその比較対照を中心課題として、ドイツ語文献の講読とその翻訳を主体に、個別指導を含めて、学生の研究推進を支援する。	